あらゆる状況を想定し、人・体制・しくみなどの充実・強化に取り組んでいます。

万が一の場合を想定し、重大事故発生時の対応体制の整備、原子力事業者間の相互協力の強化、社内における事故時対応能力の向上、安全性向上活動のさらなる推進などに取り組んでいます。

緊急時対応訓練

原子力発電所では、設備面での安全対策以外にも、その設備の使用手順等を身につけ、事故時の対応能力を向上させることを目的に、年間1,000回以上の教育・演習や訓練を行っています。

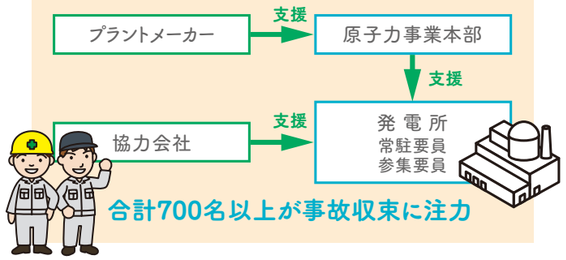
原子炉に冷却水を注入するためのポンプの設置訓練

防護服やマスクを着用した悪条件下を想定した重大事故対応訓練

緊急時対策所での訓練

事故対応体制

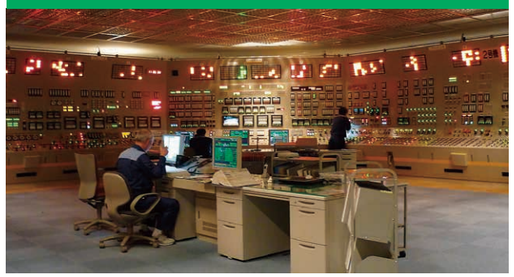
プラントメーカーや協力会社と連携し事態の収束にあたります。



運転員の教育・訓練

原子力発電所の運転員は、非常時を想定したシミュレータ訓練を定期的に行い、技術の向上を図っています。

シミュレータ訓練



国や関係自治体と連携した原子力防災訓練

住民のみなさまの避難にかかる協力が的確に行えるよう、国や関係自治体との連携訓練に参加しています。

地元住民のご協力のもとでの訓練

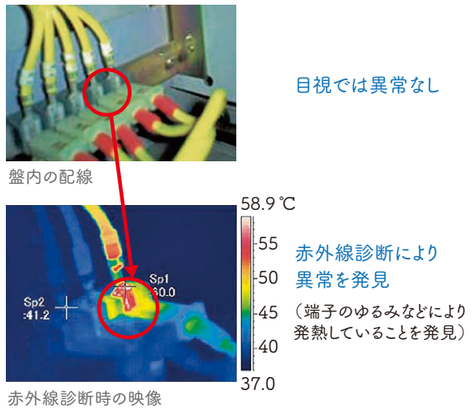
入念な点検・検査

日常的な設備点検を含め、各設備の特性に応じた点検・検査を行っています。

〔日常の保全活動（定期検査等）〕

原子力発電所では日常的に設備や機器の点検を行うとともに、法令に基づき定期的に発電所を止めて定期検査を実施。部品レベルまで分解して劣化状況を確認し、状況に合わせた部品の補修・取替えを行っています。

盤・配線等の赤外線診断



目視では異常なし

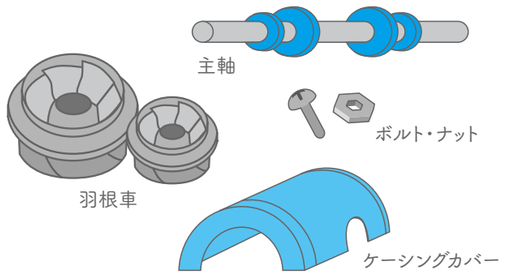
赤外線診断により異常を発見

（端子のゆるみなどにより発熱していることを発見）

配管の点検・取替え

蒸気タービンの分解点検

部品レベルで劣化状況を点検



〔新検査制度（原子力規制検査）〕

新たな検査制度が設けられ、国が原子力事業者のすべての保安活動を確認できるようになりました。検査官は、検査したい施設や活動、情報をいつでも確認できるため、事業者は「いつ」「どこで」「何を」検査されるのかわからない状態で緊張感を持って日々の保安活動を行っています。